

交通事故防止対策優良事業場表彰を受賞して 新東名高速道路 高取山トンネル東工事

大林組・鴻池組特定建設工事共同企業体
新東名高取山東JV工事事務所
所長 玉井 昭雄

1. はじめに

この度、一般社団法人日本建設業連合会公衆災害対策委員会より、栄誉ある優良事業場表彰を賜り、誠にありがとうございました。これもひとえに公衆災害対策委員会交通対策部会の皆様をはじめ、発注者である中日本高速道路株式会社東京支社ならびに関係各位のご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

2. 工事概要および周辺環境

当工事は、神奈川県伊勢原市と秦野市に位置する全長約4kmの新東名高速道路トンネルのうち、伊勢原市側からの約2.3kmの上下線の施工を主とするものです。

工事現場出入口から合流する直近の県道611号は、幅員が狭く地元住民の方々の生活道路でもあり、かつ、県内有数の観光地である「大山」への路線バスが通行するなど

交通量も多い幹線道路となっています。

トンネル掘削作業で出るズリの運搬土量の合計は約37万m³で、残土の運搬先は6カ所以上、最大運搬距離は30kmを超える場所もありました。一日のダンプカーの延べ運行台数が250台から350台にも及ぶため、一般交通や近隣住民に配慮した様々な交通安全対策に取り組んでいます。

3. 交通事故防止等に対する実施事項

(1) 一般交通および近隣住民への配慮

一般交通との交錯をできるだけ避けるため、工事現場出入口の県道の上部に栈橋を設置してダンプカーを迂回させ県道の混雑



県道架空横断栈橋



現場状況写真

緩和と安全走行を確保しています。また、この栈橋部は1車線となるため、センサーを設置した信号機を利用した交通とし、運行の円滑化を図りました。

(2) ダンプカーの安全管理

すべてのダンプトラックにドライブレコーダーを搭載して運転者の自覚を促すとともに、一部の車両には追突防止補助システム「モービルアイ」を装備して交通事故のリスク低減にも努めています。



ドライブレコーダーとモービルアイ

また、安全運転管理者（道路交通法に基づき、一定以上の台数の自家用自動車を保有する事業場において、運行計画や運転日誌の作成、安全運転の指導を行う者）が点検表に従って、ダンプ後方を車で追跡し、地元との取り決めルートを走行しているか確認する追跡調査も定期的を実施しています。

(3) ハザードマップ、運行経路図による周知

トンネルからの残土運搬先は、近隣の他工事での利用を原則としていますが、運搬先や運搬時期は、それぞれの工事の進捗や受入準備態勢によって決まるため、6カ所以上にわたる運搬先が日々変わる状況です。

このため運搬ルートごとにハザードマッ

プを作成し、朝礼にて当日のルートおよび危険個所の確認を行っています。このハザードマップの作成にあたっては、他工事の現場入口および上空からの写真や、交差点、現場入口などの写真を掲載することにより、目で見えて理解しやすいものとして交通災害防止に貢献しています。

また、日々の運搬作業で気づいた点や発注者・地元からの要望を随時、マップに取り込んで更新し周知を行っています。



ハザードマップの例（一部）

(4) 安全教育

月1回半日以上の安全教育を行い、安全意識の高揚に努めています。この際、ダンプトラックの運転手に対しては、省エネを含む安全運転のルール、他現場での事故事例の紹介などを行うとともに、ドライブレコーダーの動画を流し、潜在する危険について話し合っています。



安全教育

(5) その他

- 湿式タイヤ洗浄機を設置し、随時、散水車、ロードスweeperを稼働させるなど、場内の環境整備に取り組んでいます。



湿式タイヤ洗浄機



散水車



ロードスweeper

- 乗務開始前と乗務終了後にアルコールチェッカーを使用し、運転者に対して酒気帯びの有無を確認しています。
- 場内外とも交差点の一時停止時には左右確認の指差呼称を徹底しています。



交差点での指差呼称

- 残土積込用のバックホウには後方確認のためのバックモニターを設置し接触災害の防止に努めています。

(6) 近隣への対応

円滑な工事の遂行は、現場周辺住民の皆様との理解と協力なしではありえませんので、コミュニケーションを大切にしています。この例として、月1回の工事進捗状況を示す回覧板の配布、道路や横断歩道の簡易補修、地元住民や小中学校を対象とした現場見学会の開催、夏祭り等地元行事へ協力などを行っています。

これらの活動を通じ、地域住民の皆様とは大変良好な関係を築いています。

4. おわりに

2018年12月現在、工事進捗は64%で運搬土砂量も27万m³を超えました。無災害記録も48万時間を達成していますが、今後も一人ひとりが安全に対する意識をさらに高めて施工を行っていく所存です。

今後とも日本建設業連合会公衆災害対策委員会をはじめ関係者の皆様には一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月10日優良事業場表彰式
日建連 公衆災害対策委員長 表彰現場